

日 本 語 文 法 入 門 (第三版)

——これから外国人に日本語を教えるボランティア教師のための——

2022 年 10 月 TIFA 土曜教室

ボランティアとして外国人に日本語を教えるに当たり、役に立つであろう事柄を数回に分けて簡略に説明します。比較すると分かりやすいので、文型などについては英語との対比で説明します。

品詞などの文法用語ではこれまで学校で習って来た学校文法との対比で説明します。

今後のご自身の学習のきっかけとなれば幸いです。

【第1回】 文型 & 日本語を教えるに当たっての考え方・ヒントについて

英語では基本の5文型として右のように習いました。

これに対し日本語の文型は、述語に注目して
次の3つの文型に分類されています。

1) 名詞文	あれが桜です。
2) 形容詞文	桜がきれいです。
3) 動詞文	桜が咲きました。

1) S + V	I walk.
2) S + V + O	I am a boy.
3) S + V + O	I love you.
4) S + V + O + O	I give you a pen.
5) S + V + O + C	You make me happy.

この内、動詞文が最も複雑な内容を含んでいます。ですから文法的な説明も動詞を中心としたものになります。

英語ではS（主語）とV（動詞）が主要語で必須ですが、日本語は述語が中心、主要語で、述語を中心に文章が構成されています。このような違いがさまざまな文法的違いを生み出し、それぞれの言語を特徴付けています。その違いが、外国人が日本語を習得する時の障壁になっています。

英文では主語が必須ですが、日本文では主語のない文章もあります。むしろない場合の方が多く、その方が普通とも言えます。ある食堂の張り紙で「当店のご飯は日本のお米を使っています。」

日本人として不自然な文章ではありませんが、文法的に見ると「この文章の主語は何？誰が使うの？」「は」は何？「桜が咲きました」の「が」とどう違うの？」というような疑問が湧いて来ますが、同様の疑問を外国人も持つのです。

また英語などには助詞が無いため、外国人にとっては助詞を習得することが大変困難です。ですから助詞の習得には根気良く、丁寧に対応して行くことが必要となります。

このようなことから、初めに外国人に日本語を教えるに当たっての考え方、ヒントなどを記載しておきます。

外国人に日本語を教えるに当たっての考え方・ヒント

＊	受講生との学習を始めるにあたっては、生徒がどういうことを中心に学習したいのかをよく話し合い、出来るだけその希望に沿うような教材なり、レッスンの進め方を工夫して下さい。
＊	「日本語教師は歩く用例辞典」と言われてます。あなた自身と会話することが彼らの勉強になります。我々が英会話の学習で英語のNative Speakerと話すのと同じです。
＊	「文法を知らなければ日本語は教えられない」ということはありません。文法を知らなくても教えられます。しかし受講生が間違えた時や質問があった時などには、ルールや文法を教えてそのルール・文法から間違いを正したり、質問への回答を導く必要が出て来ます。ですから文法知識は必要になってきます。
＊	日本語教育においてもいろいろの教科書があります。「みんなの日本語」というテキストを使う人が多いですが、教科書はあくまでも外国人が日本語を話せるようになるための道具です。ですから、「教科書を教える」ということでなく、「教科書で教える」というスタンスで利用して下さい。
＊	教科書を素材にして、学習しながら出てくる内容から話を広げて質問して話させる、というように展開すると理解が進みます。 例えば教科書で「私はイタリア料理が好きです」という文があったら、「あなたはとうですか？ イタリア料理は好きですか？ 日本料理は好きですか？」などと展開して会話のきっかけにします。
＊	「話す時は少しくらい間違えてもいいよ、意味が通じればいいのだから。でも試験の時は文法的に正しい日本語でないと点数がとれないよ、合格できないよ」と話してあげると会話の時に委縮しないで良いかも知れません。
＊	学校の先生はよく「これは大事だから覚えなさい」と生徒たちに言いますが、「忘れてもいいよ、また覚えればいいのだから」と言った方がリラックス出来て良いのではと思います。リラックス出来て気長に勉強を続ける雰囲気も大切かと思います。
＊	「講師はしゃべり過ぎない方がいい」とも言われています。むしろ受講生がより多く話をするように導くことが大切とされています。
＊	日本文化についても、本人が望んでいないような時には押し付けにならないように注意しましょう。
＊	日本語が十分わからない時は、英語の分かる受講生に必要最少限で英語で説明するのは良いと思います。ただ、「講師の英会話の練習にしない」という点も注意が必要とされています。

一人前の日本語教師とは：

- ① 日本語の知識を持ち
 - ② それを学習者に理解出来るように伝える技術を持ち
 - ③ 学んだ表現を使いこなせるように訓練する技術を持つ教師
- （日本語の謎 p162 より）

以 上